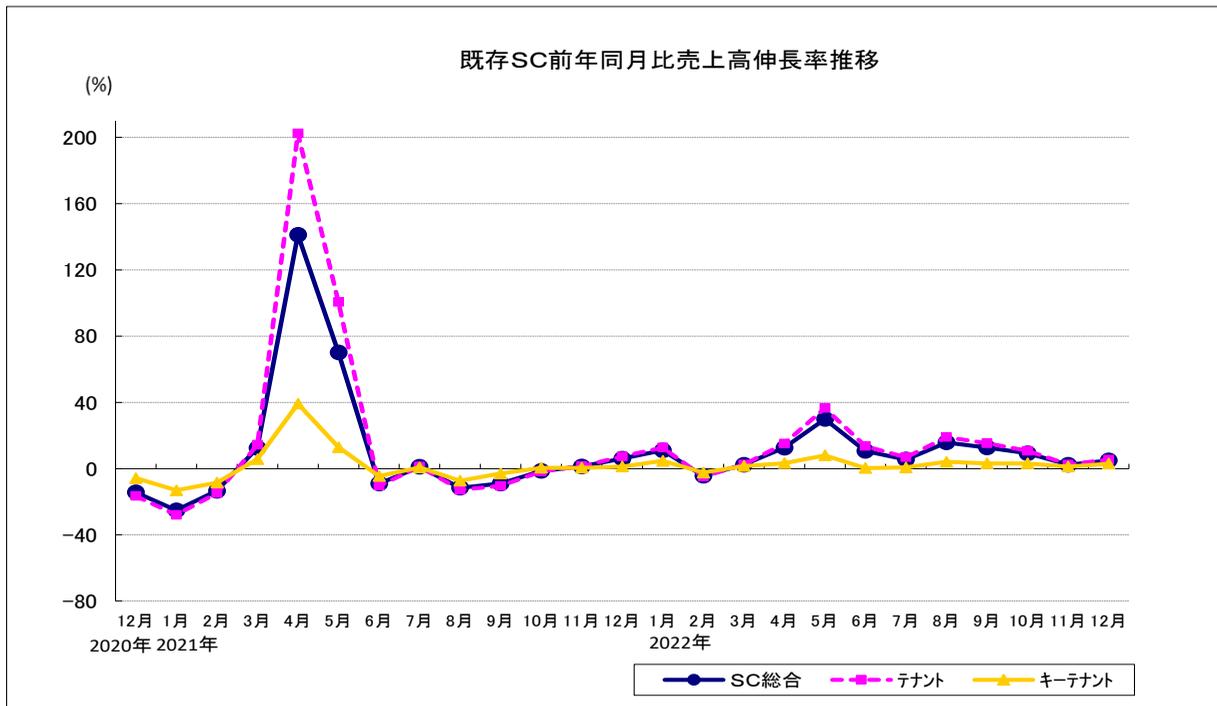


報道関係各位

SC年間販売統計調査報告2022年
既存SC前年比伸長率: +8.6% (参考: 2019年比: ▲11.8%)
SC年間売上高(推計) 28兆1,834億円(前年比+9.1%・消費税抜・全SCベース)(速報値)
行動制限緩和による来館者増で売上回復基調

<全体概況>

- 2022年(暦年)の既存SC売上高(総合)は、年間を通じて新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた2021年比で+8.6%の伸長率となった。コロナ禍前の2019年比では▲11.8%となったが、2021年の同▲19.6%からは着実にマイナス幅が縮小し、売上回復基調が続いた。
- テナントは前年比伸長率+10.3%となった。2022年は営業時間短縮やアルコール提供の制限などがなくなり、飲食業種の売上が伸びたことが好調の一因となった。ファッション業種では、外出需要の高まりにより、靴や鞆、スーツケースなどのファッション雑貨が好調であった。サービス業種では、外出機会の増加により、アミューズメントやシネマが好調という声が聞かれた。
- キーテナントは前年比伸長率+2.1%となった。外出需要の増加やインバウンドの再開にともない、中心地域の百貨店は好調だったものの、巣ごもり消費が一服したことでGMSやスーパーの売上が伸び悩み、低い伸長率にとどまった。
- 月別の動向をみると、36都道府県でまん延防止等重点措置が発出されていた2月(総合・前年同月比伸長率▲4.4%)を除き、前年比プラスで推移した。3月(+2.3%)は、まん延防止等重点措置が下旬に解除され、来館者数が回復した。4月(+12.6%)、5月(+29.9%)、6月(+10.6%)は、前年の全国的な宣言等発出による売上の落ち込みの反動がみられ、2桁台のプラスが続いた。7月(+5.5%)は、中旬以降の全国的な感染者急増により来館者数が減少し、伸び悩んだ。8月(+15.8%)、9月(+12.7%)は、行政による行動制限がない3年振りの夏休みやシルバーウィークとなり、観光・帰省客の来館が増えたSCが多かった。10月(+9.2%)、11月(+2.3%)、12月(+4.9%)は、全国旅行支援による観光需要の高まりや、インバウンドの本格再開も売上増に寄与した。



以上

この件に関するお問い合わせは 情報・リレーション部: 菰田・木口
TEL: 03-5615-8524

※お手数料をおかけ致しますが、掲載紙・誌をお送り致しますようお願い申し上げます。掲載部分をファクシミリにてお送りいただいても結構です。



一般社団法人 日本ショッピングセンター協会

広報担当: 浅田・菰田・木口・村松
 { Tel. 03-5615-8524 / Fax 03-5615-8539 }
 { Mail.pr@jcsc.or.jp }